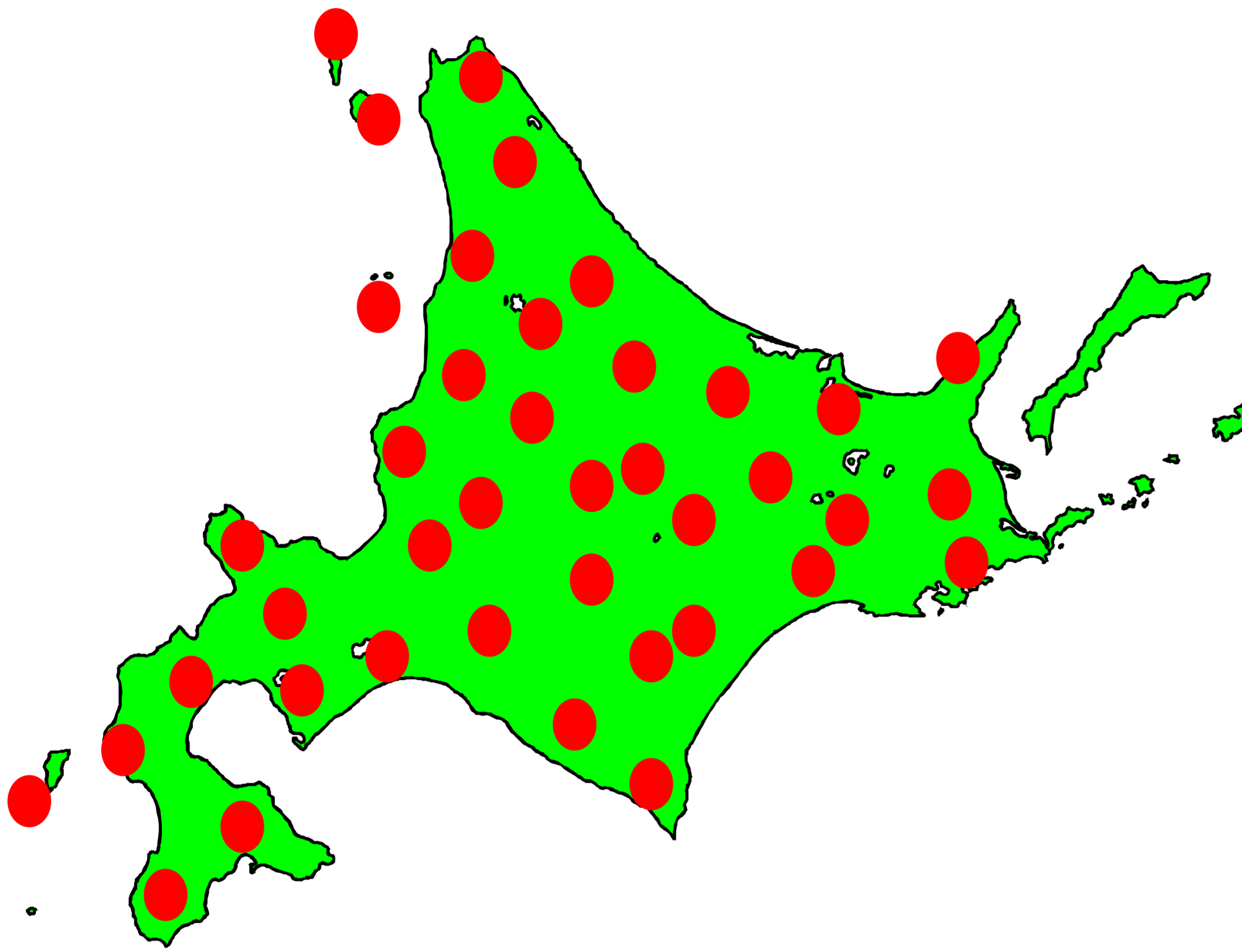


在来種(ニホンザリガニ)



ニホンザリガニは、かつては北海道の広範囲に分布していましたが、現在では生息地および生息数が大きく減少しています。減少の要因には、河川改修、生息地周辺の広葉樹の伐採、水域の水質悪化や水辺環境悪化、北米産外来種のウチダザリガニによる影響などが考えられてます。ニホンザリガニはきれいな水と安定した環境を必要とするため、その存在は人間の住みやすい環境の指標となり、個体群の保全は私たち住民の生活環境保全にもつながります。希少種の保全は、単に種の保全のみならず地域の生物多様性の保全のうえでも重要であり、ニホンザリガニの保全はその意味でも意義が大きい。